

ビジョン・ホールディングスの子会社、ビジョンVRの 株式譲渡完了のお知らせ

韓国ロッテグループ系列のロッテ情報通信に売却

2021年 7月 26日

オーケストラ・アドバイザーズ・코리아有限会社（以下「オーケストラ」）が設立した「オーケストラ・プライベート・エクイティ第2号私募投資合資会社」（以下「OPE II」）は、株式会社ビジョンVR（以下「ビジョンVR」）の全株式をロッテグループの情報通信技術企業、ロッテ情報通信株式会社（以下「ロッテ情報通信」）に譲渡したことをお知らせいたします。ビジョンVRはオーケストラが2018年7月に出資した株式会社ビジョン・ホールディングス・コーポレーション（以下「ビジョン・ホールディングス」）において追加買収した子会社です。

ビジョンVRはビジョン・ホールディングスの傘下となった後、先端技術を用いたコンテンツ企業として生まれ変わりました。ビジョン・ホールディングスとともにKT、LG Uplus等の通信会社のVRプラットフォーム立ち上げの際のVRコンテンツの提供だけでなく、現代自動車（ヒョンデ）、メルセデスベンツのようなブランドにもマーケティングのためのサービスを提供しました。2019年にはSonyのPlayStation VRプラットフォーム、中国のOTTプラットフォーム「iQIYI」を通じて独自のインタラクティブVR映画「花火」を公開しました。この他にも画像補正、圧縮、VR仮想空間コンテンツのためのインタラクティブシステム等の独創的なVR技術を開発し、ユーザーが多様なネットワーク環境で高画質のVRコンテンツを経験できるよう制作しました。

オーケストラのオ・ジャック氏は「ビジョン・ホールディングスとビジョンVR間で生まれたシナジーは両社にとって重要な過程であり、かけがえのない教訓となりました。ビジョン・ホールディングスはこれからも映画、ドラマ、テーマパークでのコンテンツ等の新しいメディアVFX事業、そしてTV広告制作・ポストプロダクション事業のグローバル市場拡大のために引き続き邁進してまいります」とコメントしました。

本件により、オーケストラは2度目のエグジットを成し遂げることができました。本件のM&AアドバイザーはKPMG、法務アドバイザーは韓国のLAB Partnersが担当しました。

オーケストラ・プライベート・エクイティ 概要

オーケストラ・プライベート・エクイティは東アジアに基盤を置くクロスボーダー投資会社として、中堅・中小企業に投資し、“グローバル・チャンピオン”への成長を支援するプライベートエクイティファンドです。投資先の価値の源泉を理解し、中長期的な企業価値創造に必要な知見・経験を適用します。オーケストラは、投資先の経営陣と密に連携し、単体での成長および更なる地域拡大はもちろんのこと、強い経営陣の構築や経営基盤の強化、国内外における追加買収を通じたさらなる企業価値向上のお手伝いをいたします。詳細は www.orchestraprivatteequity.com をご覧ください。この資料に関する問い合わせは information@orchestraprivatteequity.com までご連絡ください。

ビジョン・ホールディングス・コーポレーション 概要

ビジョン・ホールディングスは広告代理店、エンターテインメント企業、映画・ドラマスタジオなどを対象にクリエイティブな映像制作サービスを提供するグローバル企業です。業界の老舗として、創立30年の歴史を持ち、ソウルに100名、上海と台湾にあわせて40名の社員が勤務しています。詳細は www.visionholdingscorp.com をご覧ください。

ビジョンVR 概要

2017年設立されたビジョンVRは、韓国国内でVRコンテンツ開発をリードする企業です。コンテンツの企画から映像撮影、編集、完成に至るまでのVR作業全工程を手掛けています。